

令和4年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～					
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー					
重点プロジェクト		”オールふじみ野”まちづくりプロジェクト 美しくにぎわいのあるまちプロジェクト					
主管課	市民活動推進部 協働推進課	評価責任者				本橋 直人	
		評価日				令和5年6月1日	
関連課	全庁各課						
目標	市内で活躍する市民活動団体の主体性を尊重した支援と、大学や企業等との連携を図り、多世代にわたる市民に対し、相互交流や地域での実践につながる場を提供し、協働のまちづくりへの意識の醸成と人材の育成を推進します。また、自治組織などの活動を支える仕組みの充実を図ります。						
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 協働のまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民活動団体や関係機関等と連携を図り、協働のまちづくりへの意識が醸成されるよう、市民の学びの場づくり及び意識啓発と人材育成に取り組みます。 ○協働のまちづくりという視点に立つ行政運営を進めます。 <p>(2) 地縁活動や市民活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自治組織や市民活動団体の活動について、主体性を尊重した支援を推進します。 <p>(3) コミュニティ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自治組織やNPO法人、ボランティア団体の活動拠点となるコミュニティ施設の計画的な整備と機能の充実を図ります。 						

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	自治組織の加入率					
		説明	市内における自治組織の加入率。市民の協働によるまちづくりを推進する指標となるため。(各自治組織に加入している世帯数を市内全世帯数で除した数値※指標の数値は累計)					
		単位	%					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	57.50	58.00	58.50	59.00	59.50	60.00
		実績値	54.00	51.50	49.50	47.90	46.70	
	指標2	指標名	市民活動支援センターの登録団体数					
		説明	市民の協働によるまちづくりを行う機会の創出を図る指標となるため。(※指標の数値は年度末の登録団体数)					
		単位	団体					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	125	130	135	140	145	150
		実績値	124	127	119	122	116	
	指標3	指標名	協働のまちづくりイベントへの参加者数					
		説明	市内における協働のまちづくりに関連するイベントの参加者数。協働によるまちづくりへの意識の醸成を図る指標となるため。(※令和2年度末にコミュニティづくり推進連絡会が解散)					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	1,050	1,100	1,150	1,200	1,250	1,300
		実績値	1,192	1,201	40	27	41	
	指標4	指標名						
		説明						
単位								
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	説明							
	単位							
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	131,810	114,054	114,641	137,453	359,104
	人件費	38,054	47,047	52,263	55,418	65,041
収入	特定財源	14,992	4,399	12,011	24,619	223,973
	一般財源	154,872	156,702	154,893	168,252	200,172

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

	実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	自治組織の活動支援と加入促進 自治組織の運営費・活動事業費や活動拠点とする集会施設の維持管理費等に対して補助金を交付した。また、自治組織連合会と共に未加入世帯を対象とした加入促進を行った。	市内58の自治組織の運営費・活動事業費（防犯・防災・環境美化・コミュニティ促進など）や活動拠点とする集会施設の維持管理費等に対して補助金を交付した。しかし、自治組織加入率については減少傾向が続いている。	自治組織活動等支援事業
取組②	市民活動展示会・交流会の開催 過去に市民活動交流会に参加された団体のメンバーを中心とした企画市民会議を5月から定期的に開催し、市民活動展示会・交流会の企画・準備を行った。	市民活動支援センター登録団体の活動を紹介する場として市民活動展示会・交流会を開催したところ、692人（市民活動展示会94人・市民活動交流会598人）の参加があった。	市民活動支援センター運営事業（一部）
取組③	プラスワン講座の開催 講座名：『団体紹介の動画を作いませんか』 開催回数：3回 オリエンテーション、動画の作成、完成動画の提出 講師：文京学院大学まちづくり研究センター（まちらぼ） 栗原真史氏	市民活動展示会・交流会参加団体を対象に団体紹介の動画作成を企画したところ、合計で26団体の参加があった。市民活動展示会・交流会での放映や市HPに掲載し、市民活動団体の活動を広く紹介することが出来た。	市民活動支援センター運営事業（一部）
取組④	協働のまちづくりフォーラムの開催 講演名：『再始動！今こそつなげよう地域活動』 開催日：令和5年1月22日 講師：特定非営利活動法人ハンズオン埼玉副代表理事 西川正氏	自治組織や市民活動に関わる人など26人が参加された。講師自らの活動体験に基づく講義、ワークショップは参加者に好評で、アンケートに回答された方全員から「大変参考になった」と回答があった。	協働のまちづくり推進事業
取組⑤			

5. 評価

評価	
指標の達成状況	自治組織の活動支援として補助金を交付する中で、令和4年度はコロナ禍において各自治組織で縮小や中止を余儀なくされていた各種事業の再開を後押しするため、コミュニティ促進事業補助金を追加した他、自治組織への加入促進として自治組織の活動内容を掲載したチラシを作成し、市報11月号に折り込みチラシを全戸に配布した。チラシは転入者に対しても配布するなど、自治組織の活動について多くの方に知っていただくよう周知に努めた。
行政資源の活用	市民活動支援センターの登録団体の支援として実施したプラスワン講座には26団体に参加いただき、作成した動画は市民活動展示会・交流会で上映した他、市HPにも掲載した。また、令和4年度は市民活動展示会・交流会を同時に実施し、登録団体がやっている活動内容や取組について広く紹介した。
おおむね適切	協働のまちづくりフォーラムについては、自治組織や市民活動に関わる人など26人が参加された。アンケートでは参加者全員が参考になったと回答されており、今後の地域活動における一助となった。
取組の有効性	それぞれの目的に沿って実施している事業について、すぐに成果が現れることは難しいが、引き続き市民の意識の変化や時代の流れに則した方策も取り入れながら、効果的な事業の実施となるよう努めていく。
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		ゆめぼると運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目 一般会計 02総務費 01総務管理費 05財産管理費					
所管部課		市民生活部 市民総合窓口課	評価責任者	佐藤 学	
事務事業期間		平成30年度～（庁舎管理等事務(支所)から分割)	評価日	令和5年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	「ゆめぼると」は大井総合支所複合施設2階のスペースを、保健センターが使用しない日時に一般貸し出しするために設けられた、市民が集い交流し活動することを目的とした施設である。夜間や休日のホール等の貸出しに際し、適正な貸出管理と良好な環境衛生の維持を行うため管理人（業務従事者）2名体制で備品の貸出・返却、使用後の清掃等を行っている（利用時のみ、時間帯ごとの単価契約）。			
	事務事業の経緯	平成25年7月大井総合支所の新庁舎開設当初から、大井総合支所の2階を「ゆめぼると」として一般に貸し出ししている。貸し出し業務に伴う施設の管理や清掃等を業務委託している。			
	事務事業の概要	「ゆめぼると」内の多目的ホール・プレイルーム・A会議室・B会議室を時間帯ごとに有料で貸し出ししており、その貸出に伴う施設の管理等を業務委託している。			
	令和4年度の主な取組	令和4年度、夜間及び休日の貸出139件（午前8件・午後65件・夜間66件）について貸室（多目的ホール等）の管理業務を委託した。業務内容：使用備品の貸出し及び取扱い説明、利用者案内及び利用者からの問い合わせ対応、貸室使用後の清掃の実施、利用報告書の受領・確認等。			

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.25	0.40
		人件費	1,987	3,186
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.15
		人件費	1,012	791
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.55
	人件費	0	0	
人件費計		2,999	3,977	3,939
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	0	0	0
	委託料	591	1,375	2,534
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	0	0	0	
支出合計		3,590	5,352	6,473
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	230	513
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	0
一般財源		3,360	4,839	5,693
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		29	42	49

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ゆめぼるとの稼働率（多目的ホール）		
	説明	貸館施設である「ゆめぼると」を市民に有効活用してもらうため、建替工事中の大井中央公民館に情報提供し稼働率の上昇を目指す。 ただし、令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症防止のため、前年度に引き続き一般団体への施設利用を休止したことにより稼働率の前年度割れが見込まれる。		
活動	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	33.00	33.00	33.00
	実績値	33.30	73.60	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>令和4年度の歳入【使用料】は513,100円、歳出【管理業務委託料】は1,374,708円、ゆめぼるとの稼働率は77.78%であった。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設の利用制限も緩和されたことにより、稼働率が前年度（44.2%）より増加した。実績値は令和4年3月分を含まず。 なお、本施設は、保健センターが事業で利用しない日時にしか使用できない施設のため、稼働率が保健センターの事業の増減に左右されてしまう面がある。</p> <p>※令和2年度～稼働率の算出方法を見直した。</p> <p>【見直し前の算出方法】 $(稼働日) \div (利用可能日) \times 100$ 単位：% *1利用可能日：保健センター事業実施日・施設点検日・年末年始等を除いた午前・午後・夜間の各時間帯における上記ホールの利用できる日数 *2稼働日：一般の各時間帯のホール利用日数（公用含む）</p> <p>【見直し後の算出方法】 $(稼働日) \div (利用可能日) \times 100$ 単位：% *1利用可能日：保健センター事業実施日・施設点検日・年末年始等を除いた日数 *2稼働日：一般の利用日数（保健センター事業実施日との重複・公用利用含む） 時間帯別・部屋別の集計を取りやめた。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	人件費やそれに伴う事務費などの高騰が懸念されるなか、令和2年度以降、経費の削減を図るため「ゆめぼると管理業務委託」の仕様や契約方法などを見直し、効率的な管理運営を目指す。
中長期的方向性	
継続	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		サービスセンターホール運営事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 08支所・出張所費			
所管部課		市民生活部 市民課	評価責任者	岩崎 明央	
事務事業期間		平成18年度～	評価日	令和5年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市サービスセンターホール条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の多種多様な活動を通して、市民相互の交流と地域社会の活性化を促進するため開設されたサービスセンターホールが安全・快適に利用できるよう、運営管理を行う。			
	事務事業の経緯	平成18年5月、上福岡駅再開発事業によってココネ上福岡の2階にサービスセンターとして、多目的ホール及び会議室の貸館が開設された。駅前という好立地で利用目的を制限しない貸館であるため、現在ではコーラスサークル、コンサート、展示会、企業の研修など、市内・市外を問わず幅広く利用されている。			
	事務事業の概要	多目的ホール及び会議室を有料施設として広く一般に貸出しする。また、ホール・会議室内の設備・備品の保守、管理を行う。			
	令和4年度の主な取組	令和2年度にステージを常設設置したが、令和3年度はさらにポータブルステージ2台を購入し、大きく使いたい場合は広げられるようにした。また、剥がれている会議機の天板や壊れたキャスターを交換するなど、設備の充実及び保全を図った。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.95	0.60
		人件費	3,974	7,567	4,769
	再任用職員	従事人数(人)	0.30	0.00	0.00
		人件費	1,518	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		5,492	7,567	4,769	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	493	323	671	
	委託料	1,171	1,361	1,479	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	536	38	127		
支出合計		7,692	9,289	7,046	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	1,982	2,274	2,177
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		5,710	7,015	4,869	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		50	61	42	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	利用率について		
	説明	新型コロナウイルスまん延の影響によりコーラス等の団体は活動自粛をしていたが、徐々に様々な活動が活発化し、利用率が向上している。		
成果	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	45	45	45
	実績値	45	53	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【事業実施内容】
	<p>①サービスセンターホール・会議室管理・貸出 ホール・会議室の予約受付、使用料の徴収、貸出管理、清掃管理に関すること。</p> <p>②備品管理 ホール・会議室内のAV機器、マイク、プロジェクター、ピアノ、机、椅子など備品の取扱い、保守、修繕に関すること。</p>
	【効果】
	利用者からは、駅前で利便性があり、利用目的に規制がないため気軽に借りることができると好評を得ており、サークル活動、自治組織の集まりや会社の内部会議、健康診断等まで幅広く利用されている。令和4年度は新型コロナウイルス感染症が拡大した時期もあったが、利用取消をする団体は少なく利用率が向上した。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	上福岡駅前で利便性が良く、利用目的を規制しない施設として評価を得ており、市内外から幅広い利用がある。今後は経年劣化に伴う備品等の故障が目立ってきていることから、修繕を計画的に実施していく必要がある。
中長期的方向性	
継続	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		協働のまちづくり推進事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト		"オールふじみ野"まちづくりプロジェクト		
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～		
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー		
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費		
所管部課		市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	星野 光
事務事業期間		平成21年度～	評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		地方自治法、ふじみ野市自治基本条例、ふじみ野市補助金等交付規則、ふじみ野市花いっぱい運動推進事業補助金交付要綱		
事務事業の内容	事務事業の目的	地方分権時代を迎え、自己決定・自己責任の原則に基づく地域経営を行っていくために、市民・市議会・市による協働の仕組みづくりを推進するとともに、事業の実施を通して、協働のまちづくりを進める上で重要となる市民の自治力の向上とその啓発を行い、もって地域振興に資することを目的とする。		
	事務事業の経緯	本事業は、まちづくりの基本となる市民の市政への参加と協働によるまちづくりの推進を図るため、平成21年度にスタートした。その前年には、文京学院大学との包括連携協定を締結するなど産学官連携のまちづくりを推進するとともに、市民との協働によるまちづくりを目指した事業を展開している。また、コミュニティ形成に係る事業は、旧市町で実施してきた経緯を受け継ぎ現在に至る。		
	事務事業の概要	自治の基本を定めた本市の自治基本条例が理念とする「参加と協働」を具体的に推進していくため、協働のまちづくり推進隊や講演会等の開催により、協働の在り方を研究していく。		
	令和4年度の主な取組	①協働のまちづくり推進隊（意見交換）の開催 ②協働のまちづくりフォーラム（協働のまちづくり講演会）の開催 ③包括連携協定先との事業の実施 ④ふじみ野市花いっぱい運動推進委員会への補助金交付事務及び活動支援 ⑤コミュニティ助成金交付事務 ⑥福岡河岸まつり実行委員会への活動支援（※新型コロナウイルス感染症の影響により中止） ⑦部及び課の庶務全般		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.10	0.90	0.80
		人件費	8,743	7,169	6,359
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
人件費計	8,743	7,169	6,359		
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	341	294	356	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	123	137	191	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	4,300	6,200	5,300	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	41	137	159		
支出合計		13,548	13,937	12,365	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	4,200	6,100	5,200
一般財源	9,348	7,837	7,165		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		82	69	62	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	協働のまちづくりフォーラムの回数		
	説明	協働のまちづくりフォーラムの実施による体現化をもって、本事業の目的実現への活動指標とする。		
活動	単位	回		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	1	1	1
	実績値	1	1	
指標 2	指標名	花いっぱい運動コンクールの参加団体の数		
	説明	花いっぱい運動推進委員会主要事業として、花いっぱい運動コンクール参加団体数を成果指標とする。		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	30	30	30
	実績値	18	23	
指標 3	指標名	協働のまちづくりイベントへの参加者数		
	説明	協働によるまちづくりへの意識の醸成を図る指標として、市内における協働のまちづくりに関連するイベントの参加者数を指標とする。(令和4年度開催実績：協働のまちづくり講演会参加人数25人、協働のまちづくり推進隊出席者数16人) (令和2年度末にコミュニティ推進連絡会が解散したため、目標値変更)		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	1,200	65	65
	実績値	27	41	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>(1) 協働のまちづくり推進隊（意見交換）の開催 市との協働事業経験者、公募者と協働のまちづくり推進隊（意見交換）を行った。 《内容》市民と市との協働事業に関する調査結果一覧の見直し、調査結果について</p> <p>(2) 協働のまちづくり講演会（フォーラム）の開催 《テーマ》「再始動！今こそつなげよう地域活動」 《日時》令和5年1月22日（日） 《講師》特定非営利活動法人ハンズオン埼玉 副代表理事 西川 正 氏 《参加者数》25人</p> <p>(3) 花いっぱい運動推進委員会への補助金交付事務及び活動支援 《団体の活動内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期総会、事例発表：3団体 ・ 花風景写真コンテスト 応募数：10件 表彰式：11月17日（木） ・ 花いっぱい運動コンクール 参加団体：一般の部8団体／小学校の部9校／中学校の部6校 現地審査：10月25日（火）、26日（水） 表彰式：11月17日（木） ・ 花栽培講座「美しさへの挑戦」 日時：11月17日（木） 講師：有福 創 氏（ガーデンデザイナー） <p>(4) コミュニティ助成金交付 一般財団法人自治総合センターの財源により、上野台自治会、苗間東町会、自治組織連合会へ助成金を交付した。</p> <p>【効果】 協働のまちづくり講演会ではワークショップを行い、団体交流、世代間交流の場が得られた。 また、補助金、助成金の交付を通じて、団体の支援を行うことができた。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	協働のまちづくりの推進を図るため、より多くの市民にまちづくりフォーラムの開催などを通して意識の向上を図る必要がある。その方策の一つとして、引き続き関心の高いテーマを選考し、フォーラムの参加者数の増及び内容の充実を図る。
中長期的方向性	
継続	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		自治組織活動等支援事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト		"オールふじみ野"まちづくりプロジェクト			
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	星野 光
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市自治組織の設置及び振興等に関する規則、ふじみ野市自治組織連合会補助金交付要綱、ふじみ野市自治組織運営等活動費補助金交付要綱 他			
事務事業の内容	事務事業の目的	・市内の自治組織が相互に連携し、地域の活性化と生活環境の改善を図り、もって地域社会の福祉の向上と住民自治の確立に寄与することを目的とする。 ・自治組織に補助金を交付することにより自治組織活動を支援し、住民自治の推進及び豊かな地域社会づくりを構築することを目的とする。			
	事務事業の経緯	本事業は、標記の目的を達成するため、平成17年度から現在に至るまで継続して実施している。開始当初から平成18年度までは各自治組織に「報償金」として支給していた。平成18年度の補助金見直し方針に則り、公益性・明確性を確保し、市と自治組織の対等な関係を維持するため、平成19年度以降は「補助金」として支出している。			
	事務事業の概要	以下に代表される事業活動を補助する。 【自治組織運営費補助、事業費補助及び集会施設維持管理費補助】 ①自治組織の運営費及び自治組織の事業費（加入促進事業、コミュニティ促進事業含む）②自治組織集会施設の維持管理費③自治組織集会施設の建設費等 【ふじみ野市自治組織連合会補助】 ①自治組織相互の連絡調整と親睦を図ること②市及び関係機関との連絡調整に関すること③市及び関係機関に対する提言等に関すること			
	令和4年度の主な取組	①自治組織の運営費、事業費への補助（加入促進事業、コミュニティ促進事業含む） ②自治組織の集会施設維持管理費、修繕費への補助（自治組織所有のLED防犯灯の電気料補助含む） ③自治組織集会施設用地等賃借料、会議室等使用料への補助 ④ふじみ野市自治組織連合会への補助 ⑤ふじみ野市自治組織集会施設審議会の開催			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.53	1.68	1.72
		人件費	12,161	13,382	13,671
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.10
		人件費	0	0	506
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
人件費計		12,161	13,382	14,177	
事業費	報酬※	100	100	166	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	1,136	265	633	
	委託料	138	0	152	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	30,262	32,433	43,757	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	98	87	117		
支出合計		43,895	46,267	59,002	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	188	859	4,720
		その他	21	23	25
一般財源		43,686	45,385	54,257	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		382	398	469	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	防災防犯・環境美化・コミュニティ活動を実施している自治組織の割合		
	説明	自治組織の活動に対する補助の成果として、地縁コミュニティ活動が多方面で実施されていることを数値化する。※令和2年度から総会等の会議も事業実施の位置づけとした。 (58組織/58組織)		
活動	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	100.00	100.00	100.00
	実績値	100.00	100.00	
指標 2	指標名	自治組織の加入率		
	説明	市民の協働によるまちづくりを推進する指標として、市内における自治組織の加入率を指標とする。 (指標の数値は累計)		
成果	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	59.00	59.50	60.00
	実績値	47.90	46.70	
指標 3	指標名	ふじみ野市自治組織連合会への自治組織の加入率		
	説明	ふじみ野市自治組織連合会の効率的かつ円滑な活動には、市内の全自治組織の加入が前提条件であるため、各自治組織の自治組織連合会への加入率を指標とする。		
成果	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	100	100	100
	実績値	100	100	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【事業内容】</p> <p>(1) 各自治組織の活動支援 ①自治組織補助金 32,032,620円 (内訳) 運営費15,662,600円、事業費7,568,205円 (うち、加入促進事業606,984円、コミュニティ促進事業347,064円)、 集会施設等維持管理費6,843,472円、集会施設修繕費(7団体)1,404,483円、 集会施設用地等賃借料508,000円、会議室等使用料45,860円 ②自治組織連合会補助金 400,000円</p> <p>(2) 自治組織加入促進 ①市報及び市ホームページに加入促進のための記事を掲載(5月・11月)。 ②11月を「加入促進月間」と定め、自治組織連合会及び各自治組織と共に、未加入世帯への加入促進チラシを配付。 ③加入促進パンフレットを全戸配付(11月)及び転入世帯に配付(随時)。</p> <p>(3) ふじみ野市自治組織集会施設審議会 自治組織の集会施設に関する調査及び審議をするため、審議会を開催。 【第6回】令和4年5月17日(火)14時00分～ 意見集約 【第7回】令和4年8月8日(火)14時00分～ 答申(案)について 【第8回】令和4年10月18日(火)13時30分～ 答申(案)の最終確認について 会議終了後、答申</p> <p>【効果】 補助金の交付を通じて、自治組織の地域活動を支援することができた。また、自治組織連合会と協力しながら、加入促進チラシを作成、配布した。 自治組織集会施設審議会では、令和4年度に3回の会議を開催し、様々な意見を集約して答申いただいた。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	自治組織は市内全域を網羅する団体である。平時及び非常時においても地域住民のために力を注ぐ、地域活動の根幹を成す団体でもある。その団体の活動を支援することで、より活力に満ちた地域を築くことが期待できる。
中長期的方向性	
拡充	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市民活動支援センター運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト		"オールふじみ野"まちづくりプロジェクト			
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	星野 光
事務事業期間		平成18年度～		評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立市民活動支援センター条例、ふじみ野市立市民活動支援センター条例施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の自主的で営利を目的としない社会に貢献する活動を支援することを目的とした施設の管理運営を行い、市民活動体制の相談及び支援体制を構築する。			
	事務事業の経緯	市内で活動する市民活動団体やNPOを支援し、将来的にはまちづくりの担い手になる団体への活動支援、情報の交換・提供を図ることができる市民活動の拠点を設置する必要があったため、平成18年5月に開所した。			
	事務事業の概要	コーディネーターによる市民活動に関する相談や情報提供、活動に資する講座の開催のほか、地域課題の解決に結び付けていくための団体育成を行う。市民の企画により団体同士の交流の場を設け、地域力の向上を図る。			
	令和4年度の主な取組	①市民活動への支援 市民活動の更なる活性化に向けて、コーディネーターによる市民活動に関する相談・支援や市民活動に関する情報収集・提供を行った。 ②研修講座の開催 市民活動団体をサポートするため、研修講座（プラスワン講座）を開催した。 ③市民活動展示会・交流会の開催 市民活動団体の活動の周知、及び市民活動への参加促進を目的に市民活動展示会・交流会を開催した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.42	0.57	0.62
		人件費	3,339	4,541	4,928
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	1.20	1.22	1.48
	人件費	3,605	3,605	5,007	
人件費計		6,944	8,146	9,935	
事業費	報酬※	2,744	2,795	3,561	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	180	227	331	
	委託料	2,798	2,910	3,452	
	使用料及び賃借料	177	221	170	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	24	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	1,028	1,028	1,684		
支出合計		10,266	11,722	14,150	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	47	52	81
一般財源		10,219	11,670	14,069	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		89	102	122	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市民活動支援センターの登録団体数		
	説明	市民の協働によるまちづくりを行う機会創出を図るため、登録団体数を活動指標とする。 ※平成18年度から事業実施 ※指標の数値は年度末の団体登録数		
活動	単位	団体		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	140	145	150
	実績値	122	116	
指標 2	指標名	相談件数		
	説明	市民活動団体や個人から、活動内容や運営方法などの相談を受けた件数を活動指標とする。		
活動	単位	件		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	300	300	300
	実績値	168	275	
指標 3	指標名	市民活動交流会の参加人数		
	説明	市民活動団体同士やこれから市民活動を始めたい個人の交流の機会を提供する場である市民活動交流会への参加者数を成果目標とする。 ※令和2年度・3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により市民活動交流会を中止した為、実績値は市民活動展示会の来場者数。		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	900	900	900
	実績値	110	598	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>①市民活動展示会・交流会2023 (展示会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時、場所：令和5年1月30日(月)～2月3日(金) 午前9時～午後5時、市役所本庁舎1階ギャラリー ・催事内容：市民団体の活動紹介展示及び市民活動支援センターの登録団体紹介展示 ・内容：市民活動団体の紹介と市民活動団体の輪が広がることを目的に開催した。 ・来場者数：96人 <p>(交流会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時、場所：令和5年2月4日(日) 午前10時～午後3時半 市民交流プラザ(フクトピア) ・催事内容：活動展示・発表、ステージ発表、ワークショップ、食べ物販売等 ・内容：市民活動団体の紹介、団体相互の交流、市民と団体の交流、市民活動参加の機会の創出 ・来場者数：598人 <p>②市民活動団体サポート「プラスワン講座」～団体紹介の動画をつくりませんか～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回：10月21日(金)10時～12時 市役所5階A501・502、A大会議室 ・第2回：11月2日(水)10時～12時 市民交流プラザ 1階A会議室 ・第3回：11月29日(火)10時～12時 ステラ・イースト ミーティングルームC ・内容：市民活動展示会・交流会参加団体を対象に団体紹介動画作成のための講座を開催した。 ・参加者数：26団体 <p>【効果】 近年はコロナ禍で団体の活動周知の場が減少していたが、3年振りに交流会を開催した事で、お子様から年配の方まで幅広い世代の来場があり、より多くの方々に団体活動の様子を紹介することができた。プラスワン講座では、各団体1分間の紹介動画を作成し、完成した動画はYouTubeへアップロードを行い、市ホームページに掲載した。また、市民活動展示会・交流会の会場でも放映を行った。</p>
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市民活動展示会・交流会では、団体活動の意欲が見受けられ、今後ますます活動が活性化する事が予想される。そのような団体の活動を日頃から支援していくため、引き続き、市民活動支援センターでの相談・対応スキルの向上、各種イベントの企画、情報発信を行うとともに、市民活動支援センターの効率的な運営を進めていく。
中長期的方向性	
継続	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		おい祭り事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト			
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	星野 光
事務事業期間		平成13年度～		評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		おい祭り補助金交付要綱、ふじみ野市補助金等交付規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	本祭りは、市民、特に将来を担う子どもたちのふるさと意識の醸成を図るとともに、市民融和を目的に実施している。			
	事務事業の経緯	旧大井町においては、各地域で祭りが開催されていたが、町全体をあげての祭りはなかったため、標記の目的を達成するために地域の祭りを一堂に会し、総合的なふるさとの祭りをつくろうと開催したことに始まり、その後、実行委員会方式により実施され、現在に至っている。			
	事務事業の概要	おい祭りの開催に向けた準備として、実行委員会の事務局を市(協働推進課)が担当するとともに、祭りの開催に要する費用の一部を補助している。			
	令和4年度の主な取組	おい祭りの開催にあたり、実行委員会の事務局を市(協働推進課)が担当した。 (おい祭り自体は新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ※会議、部会のみ開催)			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.54	1.31
		人件費	3,180	4,302	10,412
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.10
		人件費	0	0	506
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
人件費	0	0	0		
人件費計		3,180	4,302	10,918	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	14,000	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	0		
支出合計		3,180	4,302	24,918	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源	3,180	4,302	24,918		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		28	38	216	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	祭りの開催		
	説明	市民のコミュニティの場となるため、開催を活動指標とする。 ⇒令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
活動	単位	回		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	1	1	1
	実績値	0	0	
指標 2	指標名	広報活動の回数		
	説明	市全体に開催を周知する機会提供として、広報活動を指標とする。 ⇒令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
活動	単位	回		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	20	20	20
	実績値	0	0	
指標 3	指標名	来場者数		
	説明	周知・広報活動の結果として、来場者数を指標とする。 ⇒令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	75,000	75,000	75,000
	実績値	0	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、おおい祭り自体が中止となった。しかし、開催に向けて以下の会議を実施した。</p> <p>【会議等】</p> <table> <tbody> <tr><td>総会</td><td>2回</td></tr> <tr><td>役員会</td><td>2回</td></tr> <tr><td>全体会議</td><td>1回</td></tr> <tr><td>運営委員会</td><td>1回</td></tr> <tr><td>総務・保安・設営部会</td><td>開催なし</td></tr> <tr><td>ステージ部会</td><td>2回</td></tr> <tr><td>ストリート部会</td><td>2回</td></tr> <tr><td>模擬店部会</td><td>1回</td></tr> <tr><td>子ども・青年部会</td><td>開催なし</td></tr> </tbody> </table> <p>※会計監査は令和5年1月13日に実施</p> <p>【協賛金・チラシ広告募集】 おおい祭り自体が中止となったため、募集なし</p>	総会	2回	役員会	2回	全体会議	1回	運営委員会	1回	総務・保安・設営部会	開催なし	ステージ部会	2回	ストリート部会	2回	模擬店部会	1回	子ども・青年部会	開催なし
総会	2回																		
役員会	2回																		
全体会議	1回																		
運営委員会	1回																		
総務・保安・設営部会	開催なし																		
ステージ部会	2回																		
ストリート部会	2回																		
模擬店部会	1回																		
子ども・青年部会	開催なし																		

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	引き続き、安全・安心に来場者が楽しめる祭り運営を補助し、市民のふるさと意識やコミュニティの醸成を図る。
中長期的方向性	
継続	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		旭ふれあいセンター管理運営事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	星野 光
事務事業期間		平成6年度～		評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立旭ふれあいセンター条例、ふじみ野市立旭ふれあいセンター条例施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民相互の交流を図り、住みよい地域社会づくりを進めることを目的とする。			
	事務事業の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・平成6年7月に開館。 ・平成24年度から指定管理者制度を導入し、公益社団法人人間東部シルバー人材センターによる施設管理が行われている。 			
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 事業内容 ①会議室等の貸出業務 ②施設の利用促進活動 ③施設の維持管理			
	令和4年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 ・館内共用箇所の消毒及び利用者の検温や消毒等の感染予防対策を徹底した。 ・地域の人や施設利用者の声を管理運営に活かすため、令和4年6月に「地域懇談会」を実施し、令和4年9月から「提言箱」を設置した。 ・建物附属設備等の修繕（電気工作物部品交換修繕、1階バリアフリートイレ扉改修修繕）を実施した。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.39	0.39	0.39
		人件費	3,100	3,107	3,100
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,100	3,107	3,100	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	1,983	0	
	委託料	7,318	7,899	7,919	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	4	75	6		
支出合計		10,422	13,064	11,025	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	2	2	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	31	0	0
一般財源		10,389	13,062	11,025	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		91	114	95	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	条例に基づき、安全で適正に施設を開館した日数を活動指標として設定した。		
活動	単位	日		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	308	308	309
	実績値	308	308	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	市民活動に関する交流及び連携の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間利用人数を成果として捉える。		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	8,000	12,000	12,000
	実績値	9,755	9,520	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	市民活動に関する交流及び連携の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間施設稼働率を成果として捉える。		
成果	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	55.00	50.00	50.00
	実績値	42.80	42.20	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【実施内容】</p> <p>◎指定管理者 公益社団法人人間東部シルバー人材センター（令和2年度～令和6年度） 月次報告では、施設の利用状況の報告を受けた。中間及び年度末モニタリングでは、施設の維持管理状況や自主事業の進捗並びに収支状況の確認を行い、現地指導と共に管理評価を実施した。</p> <p>◎新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組 ・令和4年3月21日をもって「まん延防止等重点措置」の適用が終了となり、令和4年度は制限なく施設を利用できるようになった。 ・感染防止対策は引き続き継続し、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。</p> <p>◎自主事業 ・イベントの実施 旭ふれあい卓球広場（月1～2回、延べ100人参加）、旭ふれあい寄席（34人参加）、旭ふれあい作品展（3日間で延べ140人来館）、旭ふれあい音楽祭（2日間で延べ88人参加） ・利便性の向上 地域懇談会の実施（令和4年6月）、提案箱の設置（令和4年9月）</p> <p>◎施設修繕・改善 ・市実施：1階バリアフリートイレ扉改修修繕、電気工作物部品交換修繕 ・指定管理者：小会議室空調機入替工事、駐輪場屋根板修繕、他4件</p> <p>【効果】 利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	建築から28年が経過し、経年劣化による不具合が生じている設備が散見されていることから、計画的な設備修繕を実施する。
中長期的方向性	
継続	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		鶴ヶ岡コミュニティセンター管理運営事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～		
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー		
予算費目 一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費				
所管部課		市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	星野 光
事務事業期間		平成20年度～	評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	市民相互の交流を図ることにより、住みよい地域社会づくりを推進し、もって福祉の増進と文化の向上に寄与することを目的とする。		
	事務事業の経緯	・平成20年5月に開館。 ・設置当初から指定管理者制度を導入し、公益社団法人入間東部シルバー人材センターによる施設管理が行われている。		
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 ①研修室等の貸出業務 ②施設の利用促進活動 ③施設の維持管理（複合施設としての建物の維持管理（鶴ヶ岡分館）も含む）		
	令和4年度の主な取組	・年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 ・館内共用箇所の消毒及び利用者の検温や消毒等の感染予防対策を徹底した。 ・地域の人や施設利用者の声を管理運営に活かすため、令和4年6月に「地域懇談会」を実施し、令和4年9月から「提言箱」を設置した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.37	0.37
		人件費	2,941	2,948
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00
		人件費	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00
	人件費	0	0	
人件費計		2,941	2,948	2,941
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	0	0	0
	委託料	15,826	16,378	16,969
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	6	6	9	
支出合計		18,773	19,332	19,919
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	7	7
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	684	35
一般財源	18,082	19,290	19,912	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		158	169	172

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	施設設置条例に基づき、安全で適正に施設を開館した日数を活動指標として設定した。		
活動	単位	日		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	308	308	309
	実績値	308	308	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間利用人数を成果として捉える。		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	18,000	22,000	22,000
	実績値	18,463	19,836	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間施設稼働率を成果として捉える。		
成果	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	70.00	65.00	65.00
	実績値	60.50	63.60	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【実施内容】</p> <p>◎指定管理者 公益社団法人人間東部シルバー人材センター（令和2年度～令和6年度） 月次報告では、施設の利用状況の報告を受けた。中間及び年度末モニタリングでは、施設の維持管理状況や自主事業の進捗並びに収支状況の確認を行い、現地指導と共に管理評価を実施した。</p> <p>◎新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組 ・令和4年3月21日をもって「まん延防止等重点措置」の適用が終了となり、令和4年度は制限なく施設を利用できるようになった。 ・感染防止対策は引き続き継続し、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。</p> <p>◎自主事業 ・イベントの実施 囲碁将棋の会(毎週木曜日開催、延べ537人)、鶴ヶ岡寄席(2回、延べ72人)、七夕飾り(7日間、延べ488人)、夕涼み歌の音楽会(37人)、朝の太極拳七彩広場(11回、延べ413人)親子で楽しくリトミック(3日間、延べ18人)、親子で楽しむクリスマス音楽会(26人)、梅まつり(2日間、延べ1,400人)、健康促進講座(14人) ・利便性の向上 地域懇談会の実施(令和4年6月)、「提言箱」の設置(令和4年9月)</p> <p>◎施設修繕・改善 ・市実施：なし ・指定管理者：研修室排煙窓修繕、内線電話交換工事、他6件</p> <p>【効果】 利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和4年度は指定期間5年間のうちの3年目であった。施設が竣工してからの期間が浅いことから、近年まで大きな不具合は確認されていない。しかし、竣工から10年を超過し、今後は老朽化による不具合が発生する可能性があるため、日常的に施設の老朽化に目を向ける必要がある。指定管理者の管理運営については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、積極的な運営が制限される中、感染防止策を講じながら適切に対応した。今後とも、施設の適切な管理運営及び施設利用者の満足度の向上に一層尽力していく必要がある。
中長期的方向性	
継続	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市民交流プラザ管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	星野 光
事務事業期間		平成12年度～		評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立市民交流プラザ条例、ふじみ野市立市民交流プラザ条例施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の幅広い活動と人とのふれあいや世代間の交流などの様々な市民交流活動を通じて、活力ある地域社会づくりを進める。			
	事務事業の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・平成12年5月に開館。 ・平成23年度から指定管理者制度を導入し、毎日興業株式会社による施設管理が行われている。 			
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 事業内容 ①会議室等の貸出業務 ②施設の利用促進活動 ③施設の維持管理			
	令和4年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 ・館内共用箇所の消毒及び利用者の検温や消毒等の感染予防対策を徹底した。 ・LINEやTwitter等のSNSを運用し、施設の広報活動を行った。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.39	0.39
		人件費	3,180	3,107	3,100
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,180	3,107	3,100	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	11,121	0	2,456	
	委託料	35,176	51,088	46,736	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	206,470	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	477	761	2,058		
支出合計		49,954	54,956	260,820	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	334	144	112
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	8,414	209,759
		その他	0	0	0
一般財源		49,620	46,398	50,949	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		434	407	441	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	施設設置条例に基づき、安全で適正に開館した日数を活動指票として設定（平成25年6月から祝日も開館）		
活動	単位	日		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	359	359	360
	実績値	355	354	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間利用人数を成果として捉える。		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	56,000	90,000	90,000
	実績値	64,606	68,442	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間施設稼働率を成果として捉える。		
成果	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	60.00	65.00	65.00
	実績値	55.20	53.70	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【実施内容】</p> <p>◎指定管理者 毎日興業株式会社（令和元年度～令和5年度） ・月次報告では、施設の利用状況の報告を受けた。中間及び年度末モニタリングでは、施設の維持管理状況や自主事業の進捗並びに収支状況の確認を行い、現地指導と共に管理評価を実施した。 ・施設の広報活動の1つとしてT w i t t e r を開始した。</p> <p>◎新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組 ・令和4年3月21日をもって「まん延防止等重点措置」の適用が終了となり、令和4年度は制限なく施設を利用できるようになった。 ・感染防止対策は引き続き継続し、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。</p> <p>◎自主事業 ※数値は、コスモスホール開催分も合算 武道系（空手等）、体操系（ヨガ教室等）、語学系（英会話等）、文科系（音感トレーニング等）、イベント合計全44種の教室・イベントを実施した。開講数合計：1,035回 延べ参加人数：9,801人</p> <p>◎施設修繕等 ・市実施：空調設備更新工事設計業務 ・指定管理者実施：空調設備関連修繕6件、他6件</p> <p>【効果】 利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和3年度は指定期間5年間のうちの4年目であった。竣工から20年を超過し、経年劣化による設備不良が散見されている。空調機器関連の不具合が多発していることから、令和5年度に空調機更新工事を実施する。指定管理者の管理運営については、自主事業を中心に、適切な施設運営を実施した。今後とも、施設の適切な管理運営及び施設利用者の満足度の向上に一層尽力していく必要がある。
中長期的方向性	
継続	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		コスモスホール管理運営事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	星野 光
事務事業期間		平成11年度～		評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立コスモスホール条例、ふじみ野市立コスモスホール条例施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の文化活動及び余暇活動その他の市民活動の促進を図り、市民福祉の増進に寄与する。			
	事務事業の経緯	<ul style="list-style-type: none"> 平成11年7月に開館。 平成23年度から指定管理者制度を導入し、毎日興業株式会社による施設管理が行われている。 			
	事務事業の概要	指定管理者による施設の維持管理及び運営 事業内容 ①多目的ホールの貸出業務 ②施設の利用促進活動 ③施設の維持管理			
	令和4年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 年度末モニタリング、中間モニタリング及び月次報告に対するモニタリングを行い、提案事項の進捗確認や、収支状況の確認を行い、事業の軌道修正を行った。 新型コロナウイルス感染拡大防止策として、館内清掃及び消毒を徹底した。 自主事業にて新規の定期講座（太極拳）を実施した。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.39	0.39
		人件費	3,180	3,107	3,100
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,180	3,107	3,100	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	2,740	2,340	2,624	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	14,080	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	26	44	0		
支出合計		20,026	5,491	5,724	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	1	1	1
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	10,600	0	0
		基金	3,975	0	0
		その他	1,053	1,053	1,111
一般財源	4,397	4,437	4,612		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		38	39	40	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	条例に基づき、安全で適正に開館した日数を活動指標として設定した。		
活動	単位	日		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	335	334	335
	実績値	277	334	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指標として、年間利用人数を成果として捉える。		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	5,000	9,000	9,000
	実績値	6,432	7,099	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	安全かつ快適なコミュニティ活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間施設稼働率を成果として捉える。		
成果	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	50.00	55.00	55.00
	実績値	45.00	54.40	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【実施内容】</p> <p>◎指定管理者 毎日興業株式会社（令和元年度～令和5年度） 月次報告にて施設の利用状況の報告を受けた。中間及び年度末モニタリングでは、施設の維持管理状況や自主事業の進捗並びに収支状況の確認を行い、現地指導と共に管理評価を実施した。</p> <p>◎新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組 ・令和4年3月21日をもって「まん延防止等重点措置」の適用が終了となり、令和4年度は制限なく施設を利用できるようになった。 ・感染防止対策は引き続き継続し、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。</p> <p>◎自主事業 ・木曜夜間に太極拳を新たに実施。</p> <p>◎施設修繕・改善 市実施：該当なし 指定管理者実施：該当なし</p> <p>駅から近いという土地柄の特性を踏まえ、学生のダンスサークルの利用が増えている。</p> <p>【効果】 利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和3年度は指定期間5年間のうちの3年目であった。指定管理者の管理運営については、感染防止策を講じながら適切に対応した。今後とも、施設の適切な管理運営及び施設利用者の満足度の向上に一層尽力していく。
中長期的方向性	
継続	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		うれし野まちづくり会館管理運営事業	前年度の方向性 縮小	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～		
	施策	01 協働 ー市民が主役の地域の輪づくりを推進しますー		
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費		
所管部課		市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	星野 光
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		地方自治法第237条、地方財政法第8条、ふじみ野市財産規則		
事務事業の内容	事務事業の目的	うれし野まちづくり会館の適正な維持管理を図る。		
	事務事業の経緯	当該会館の施設管理業務は、平成21年度は福祉部、平成22年度から平成26年度は資産管理課が行っており、平成27年度に協働推進課に移管された。		
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・会館の管理運営 ・2階部分のNPO法人等への貸付業務 ・3階部分の市民への貸出業務（集会室・和室） 		
	令和4年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・不具合箇所の修繕を実施（2階誘導灯交換修繕、都市ガス警報器交換修繕、PAC空調機ドレンユニット交換修繕、電気工作物部品等交換修繕、ポンプ室排水ポンプ用電極交換修繕、警報ブザー交換修繕） ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、除菌セットを用意し、利用者に施設利用後の除菌の徹底をお願いした。 		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.44	0.34
		人件費	3,498	2,709
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00
		人件費	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00
人件費	0	0		
人件費計		3,498	2,709	2,703
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	1,416	3,509	0
	委託料	6,439	7,351	0
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	172	172	0	
支出合計		11,525	13,741	2,703
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	1,264	686
一般財源	10,261	13,055	2,703	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		90	114	23

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	年間開館日数		
	説明	安全で適正に開館した日数を活動指標として設定		
活動	単位	日		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	356	356	357
	実績値	239	351	
指標 2	指標名	年間利用人数		
	説明	活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図るため、年間利用人数を成果としてとらえる。		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	900	1,000	1,000
	実績値	831	922	
指標 3	指標名	年間施設稼働率		
	説明	活動の場を提供する施設として有効に活用されているかを図る指数として、年間施設稼働率を成果としてとらえる。		
成果	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	35.00	10.00	10.00
	実績値	10.81	5.22	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【実施内容】</p> <p>◎3階地域開放部分：施設利用に係る受付事務を実施。</p> <p>◎施設管理による休館 6月19日、9月18日、9月19日、1月9日、3月19日</p> <p>◎2階NPOベース：2団体に貸出しを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人ふじみ野明るい社会づくりの会 ・NPO法人ふじみ野市学童保育の会 <p>◎修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階誘導灯交換修繕 49,500円 ・都市ガス警報器交換修繕 37,400円 ・PAC空調機ドレンユニット交換修繕 80,300円 ・電気工作物部品等交換修繕 1,375,000円 ・ポンプ室排水ポンプ用電極交換修繕 33,000円 ・警報ブザー交換修繕 33,000円 <p>【効果】</p> <p>利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
縮小	施設竣工より25年以上が経過し、老朽化による不具合が散見されており、適切な管理に努めていく。また、施設の利活用とともに、施設自体の在り方も検討していく。
中長期的方向性	
縮小	